

1

バラモンプラン

(令和4年度からの取り組み)

2 0 2 3 . 4 月

長崎県立五島高等学校

研 修 図 書 部

2

バラモンプランとは

- 総合的な探究の時間
 - 地域探究型課題解決活動
 - ふるさと教育の一環として実施
- 対象
普通科普通コース・スポーツコース1～3年生

令和2年度

バラモン発表会の様子



3

バラモンプランとは

- 目標

3年間のカリキュラムを通して、
思考力や表現力といった技能を磨き、
地域での学びを
自分自身の将来に繋げて考えること

4

バラモンプランとは

- 育成したい資質・能力

郷土愛

- 伝統と文化を継承し、地域の課題を学ぶことで個性豊かな文化の創造を図る

思考力・判断力・表現力

- 問いの設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現などを通して、社会で生き抜くコミュニケーション力を育む

主体性・協働性

- 自分自身と他者や社会との関わりの中で学びに向かう力、人間性を育む

リーダーシップ

- 互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようという態度を養う

5

バラモンプランとは

• 4つの過程

＜自分を知る＞

- 自分を分析し、自分の適性を把握、職業研究などを行い進路について考える。

＜社会・地域を知る＞

- 社会や地域の課題を知り、これからの社会で求められる力について考える。

＜地域の課題に挑戦＞

- 社会探究型課題研究を行い、活動を通して研究を深める。

＜自己実現と進路実現＞

- 研究した事柄から自己について理解し、進路につなげる。

6

カリキュラム(1年生)

- 自己探究

スタディーサポート、適性診断ゲームなどを用いた自己分析

- 職業研究

ジョブ図鑑などインターネットを用いた職業調べ

- 学部研究

インターネットなどを活用したワークショップ
スポーツコースの生徒による大学調べ発表会

△
自分を知る
▽

- 自分を分析し、自分の適性を把握、職業研究などを行い進路について考える。

7

カリキュラム(1年生)

- バラモンセミナー（社会人講話）
 - ※ 7～10講座を開設
- 長崎財務事務所「財政プログラム」
- プレ探究活動
 - ※ デジタルGEOマップの作成
- 企業交流会（R4年度）
 - ※ 五島振興局・ハローワークと連携
 - ※ 島内企業 16社 + 県教委
合計17企業が参加
- 2年次に向けたテーマ設定
教材の導入（R4年度）
「一生使える探究のコツ入門編」（トモノカイ出版）

社会・地域を知る

- 社会や地域の課題を知り、これからの社会で求められる力について考える。

8

カリキュラム(2年生)

「夢（無限の可能性）」×「未来」

生徒の進路実現や自己の在り方生き方を考えさせるために、自身の興味関心から五島市が抱える課題を発見させる。

PPDACサイクルを通して、主体的に五島市が抱える課題を発見し解決していくための資質・能力・態度を育み、次世代の地域活性化を担う人材を育成することを目指す。

＜地域課題に挑戦＞

- 社会探究型課題研究を行い、活動を通して研究を深める。

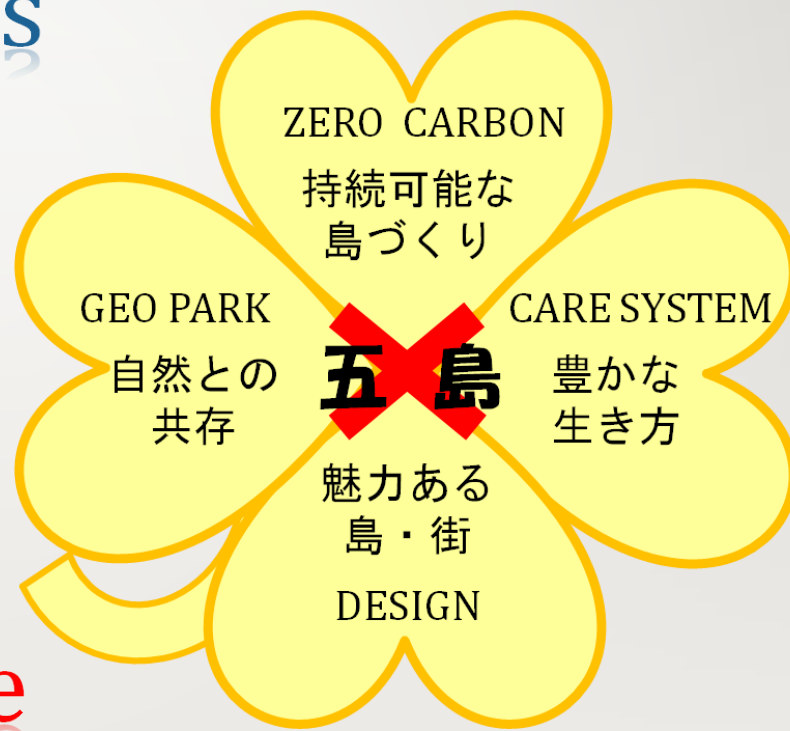
9

カリキュラム(2年生)

2年次の活動目標

活動テーマ

♥ Infinite Possibilities



Create "OUR" Future

10

カリキュラム(2年生)

論理的・科学的な視点

「ゼロカーボン」 × 「五島」

環境問題、再エネの島、災害、持続可能な社会

「ジオパーク」 × 「五島」

農業・漁業・林業、文化遺産の継承、観光

「ケアシステム」 × 「五島」

医療体制、障害者雇用、保育・教育、安全衛生

「デザイン」 × 「五島」

街づくり、ブランド化、経済

＜ 地域課題に挑戦 ＞

- 社会探究型課題研究を行い、活動を通して研究を深める。

11

カリキュラム(2年生)

• 学公連携プロジェクト

(R5年度よりスタート)

〈従来の連携先〉

五島市役所、五島振興局、
五島市観光協会、地元企業など



共立女子大学

所在地：東京都千代田区

〈地域課題に挑戦〉

- 社会探究型課題研究を行い、活動を通して研究を深める。

12

カリキュラム(2年生)

何が変わるのか

- 大学生がアドバイザーとして参加
(オンライン)
- 8月8日・9日に東京より来島
(フィールドワーク)
- 研究機関と接続することでより
高度な研究へ
- 島外への情報発信力の強化

＜地域課題に挑戦＞

- 社会探究型
課題研究を
行い、活動
を通して研
究を深める。

カリキュラム(3年生)

< R5年度より >

- 進路指導部と連携を強化
 - 面接練習、NIE教育の強化
 - 高大連携講座の拡充
- ※ 社会の情勢と自身の進路を繋げて
考える機会を設ける

自己実現と進路実現

- 研究した事柄から自己について理解し、進路につなげる。